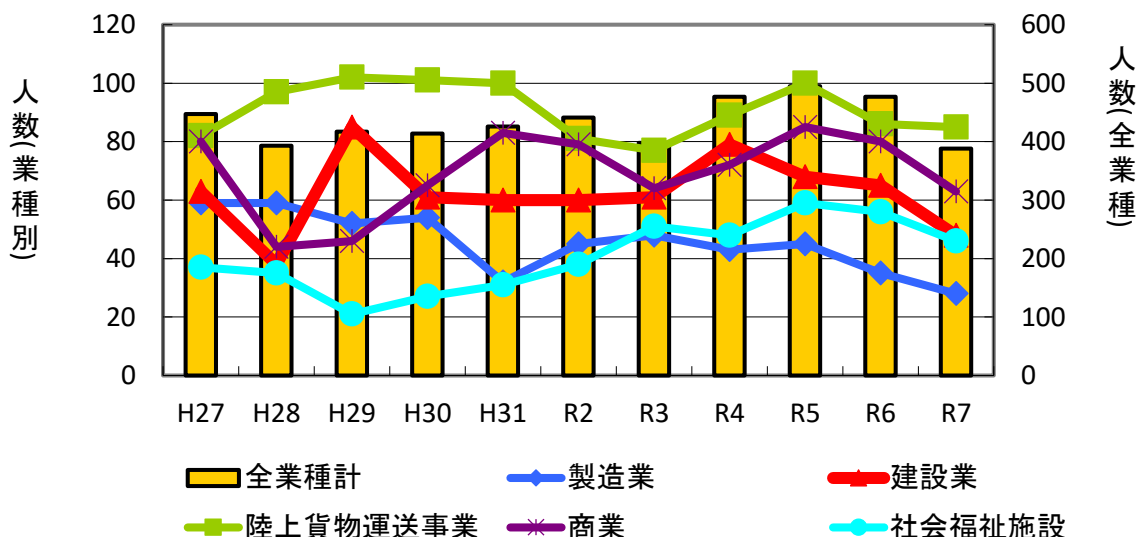


転倒や動作の反動等による労働災害を防止しましょう！

休業4日以上の労働災害発生状況について

業種別災害発生状況の推移



全業種の主な事故の型別内訳について

事故の型	令和7年 (件)	前年比
転倒	116	-2
動作の反動、無理な動作	63	-16
墜落、転落	48	-39
はさまれ、巻き込まれ	34	-4
交通事故（道路）	34	1
激突され	16	0
切れ、こすれ	16	-6
激突	12	-20
崩壊、倒壊	12	-2
高温・低温の物との接触	12	0
飛来、落下	10	-4

令和7年の全業種の労働災害の事故の型別に割合が高いのは、

転倒 29.9%

動作の反動・無理な動作 16.2%

墜落・転落 12.4%

の順で、行動災害だけで約46%を占める状況となっています。

●転倒の割合が高いのは、接客娯楽業、商業、保健衛生業、建設業

●動作の反動・無理な動作の割合が高いのは、保健衛生業、運輸業、接客娯楽業、商業となっています。

各種取り組みについて

確かめよう！



労働者の転倒災害（業務中の転倒による重傷）を防止しましょう

50歳以上を中心に、転倒による骨折等の労働災害が増加し続けています
事業者は労働者の転倒災害防止のための措置を講じる必要があります

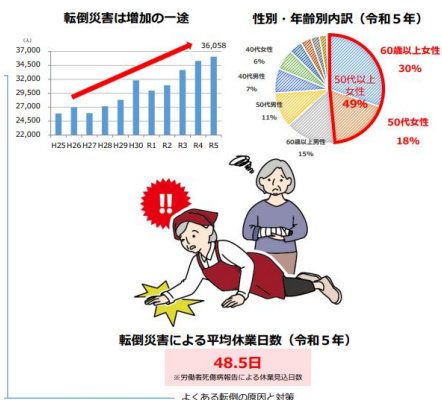
「つまずき」等による転倒災害の原因と対策

- ☐ (なし) 何も無いところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒
➢ 転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等の導入（★）
職場 3 分 エアコンサイズ 令和7年度労働安全衛生 転倒予防セミナー
- ☐ 作業場・通路に放置された物につまずいて転倒
➢ バックヤード等も含めた整理、整頓（物を置く場所の指定）の徹底
- ☐ 通路等の凹凸につまずいて転倒
➢ 敷地内（特に従業員用通路）の凹凸、陥没穴等（ごわずかなものでも危険）を確認し、解消
- ☐ 作業場や通路以外の障害物（車止め等）につまずいて転倒
➢ 適切な通路の設定
➢ 敷地内駐車場の車止めの「見える化」
- ☐ 作業場や通路の設備、什器、家具に足を引っかけて転倒
➢ 設備、什器等の角の「見える化」
- ☐ 作業場や通路のコードなどにつまずいて転倒
※引き回した労働者が自らつまずくケースも多い
➢ 転倒原因とならないよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に遵守を徹底させる

「滑り」による転倒災害の原因と対策

- ☐ 凍結した通路等で滑って転倒
➢ 従業員用通路の除雪・融雪。凍結しやすい箇所には融雪マット等を設置する（★）
- ☐ 作業場や通路にこぼれていた水、洗剤、油等により滑って転倒
➢ 水、洗剤、油等がこぼれていることのない状態を維持する。
（清掃中エリアの立入禁止、清掃後乾いた状態を確認してから開放の徹底）
- ☐ ウェットエリア（食品加工場等）で滑って転倒
➢ 滑りにくい履き物の使用（労働安全衛生規則第558条）
➢ 防滑床材・防滑グレーチング等の導入、摩耗している場合は再施工（★）
➢ 隣接エリアまで濡れないよう処置
- ☐ 雨で濡れた通路等で滑って転倒
➢ 雨天時に滑りやすい敷地内の場所を確認し、防滑処置等の対策を行う

職場で転倒して骨折（転倒災害）



STOP！転倒災害プロジェクト



腰痛予防対策



腰痛予防に関する教材・資料

腰痛を防ぐ職場の好事例集

腰への負担を減らした事例



「いきいき健康健康体操」

転倒・腰痛を防止するために、日頃から行える体操（解説あり）



腰痛予防対策指針による予防のポイント

改正ガイドラインの要点まとめ



高齢労働者の転倒災害防止のため、設備改善や専門家による指導を受けるための費用を一部補助します。

令和8年度エイジフレンドリー補助金

※コースごとに申請受付期間が異なります。

